菊陽町 × TSMC慈善財団 × 熊本大学

町民の健康長寿や外国人労働者への医療支援に向けた取り組みを始動

問 介護保険課　地域包括支援係　☎096(232)2366

４月17日、町とTSMC慈善財団、熊本大学は、医療分野における連携協力に関する協定を締結しました。今後、３者が協力して、次の取り組みを進めます。

左から吉本町長、TSMC慈善財団ソフィー・チャン会長、熊本大学小川学長

外国人への医療体制強化と健康長寿プロジェクト

この協定は、３者がそれぞれの強みを生かし、JASM熊本工場の社員およびその家族への医療上の支援と、町民の健康増進（健康長寿プロジェクト）および健康増進に関する学術研究の発展に貢献することを目的としています。

３者は、令和６年７月に発足式を開催。高齢者のニーズや各機関の取り組みなどを紹介したほか、関係機関との協力方法や健康長寿プロジェクトに関するディスカッションを行い、その後、３者で準備を進め、今回の協定締結に至りました。

発足式で健康長寿プロジェクトに向けた協議をする関係者

締結式では、デモンストレーションとして、武蔵ヶ丘７町内ほほえみの会の皆さんが、運動と認知機能のトレーニングを披露し、その様子を関係者が視察しました。

脳トレを組み合わせた運動指導のデモンストレーション

その後、TSMC慈善財団のソフィー・チャン会長、熊本大学の小川久雄（おがわひさお）学長、吉本町長が協定書に署名。

今後は、TSMC慈善財団の資金援助のもと、３者が連携協力し、下記事業を進めます。

町では、企業進出の効果を町民の皆さんに実感してもらえるよう、引き続き高齢者支援施策にも積極的に取り組んでいきます。

協定をもとに進める取り組み

連携項目１
JASM熊本工場の社員およびその家族への医療支援体制の構築

町や県、熊本市、熊本大学（病院）、医師会、消防局、JASMによる医療連携に関する意見交換会を設置し、JASM社員とその家族など外国人労働者が安心して医療を受けられるシステムを構築するため連携協力します。

連携項目２
町民の認知症の予防および健康寿命の延伸に向けた取り組み

熊本大学が、町、国立長寿医療研究センターおよび台湾の国立陽明交通大学と協力し、町民を対象とした健康づくり事業に取り組みます。

一定期間、運動や食事・栄養面の指導、認知トレーニングなどを行うことで、要支援・要介護認定率の改善や、認知症患者の減少を目指します。

連携項目３
成果は2029年に論文で世界へ公表